

「出あい」について —堀の中の汪さんとフランク—¹

中島三晶

1. 「出あい」について

「人生は出あい」は古くからの言葉ですが、私の「出あい」について話をすすめます。一人は、私の10年来の友人の汪楠さん、もう一人はロゴセラピーのV. フランクです。人生の転機、変わり目は「出あい」から始まる……が私の実感。この汪楠さんとV. フランクとの「出あい」は、まさに私の第2の人生を面白く豊かなものにしてくれました。話は、汪楠さんを中心に進めますが、フランクのことロゴゼミのことにも触れてまいります。「堀の中」の「堀」は刑務所の中、高い堀に囲まれた刑務所の中の意味で、話の進みの中でご理解いただけるとおもいます。



(引用：Wikipedia)